

映像	内容
タイトル VTR	オープニングタイトル
	<p>田村： お元気ですか！市民のみなさん。麒麟の田村裕です。</p> <p>藤井： 藤井未莉佳です。 さて、先日から番組でも紹介しています岸辺駅前の「健都」。 もうお馴染みになってきましたよね。</p> <p>田村： そうですね。もう覚えてきましたね。</p> <p>藤井： 今年7月に国立循環器病研究センターが移転するんですが、 その準備が進む健都へのアクセスが、ますます便利になるんです。</p> <p>田村： お！そうなんですか？</p> <p>藤井： 岸部中5丁目の交差点から、国立循環器病研究センターまで伸びる 約550メートルの都市計画道路が出来ました。</p> <p>田村： マジで？すごいですね。</p> <p>藤井： 2月7日には開通式典も行われました。</p> <p>田村： あ、そうですか！</p>

VTR

ナレーション（藤井）

この道路は、健都内に移転した吹田市民病院や国循など医療機関への救急搬送路や、JR岸辺駅へ向かう自転車の走行空間を整備し、駅利用者の利便性向上と安全の確保を目的として開通されました。

「全線開通でございます！」

ナレーション（藤井）

式典の後、「健康に向かって歩こう！」をテーマにした開通記念イベントが開催されました。

大阪学院大学吹奏楽部のマーチング演奏と共に、参加者はノルディックポールを持って、岸部中千里丘線を岸辺駅方面へ向かって皆で歩きました。

藤井：

結構、皆さん集まってましたけど、健康になるイベントというか歩くイベント、良さそうですね。

田村：

「健都」という健康の街ですから、歩くのは健康に繋がりますから気がきいてて良いですね。

藤井：

実は今まで健都へのアクセスが、ニュータウン方面から行く場合、産業道路からの1本道が主な通路だったんですよ。この新しい道路ができたことによって、南千里から健都まで一本で繋がるようになったんです。

田村：

あ！ここからずっと行くと南千里や！亥子谷通って、ずっと来てここや！そうか、そうか。

藤井：

そうなんですよ。新御堂筋とも繋がるので、便利になったんですよ。

田村：

あ、ホンマや！じゃあ、桃山台からや！桃山台からず～っと健都。目的によって、この岸辺駅に行きたい人はここから行けばいいし、健都に行きたい人はこっちを使えばいい。目的が分かれていますね。

藤井：

渋滞が起きにくくなったら、すごく便利になりますよね。

田村：

そうですね。

藤井：

まだ行ったことがないという方は、ぜひ一度行ってみたいはいかがでしょうか。

ナレーション・藤井

大阪空港から門真市、そして彩都を結ぶ北大阪の動脈、
大阪モノレール。28キロと、日本で一番営業距離の長い
モノレールです。

そんな大阪モノレールの車両基地が吹田市の万博記念公園
近くにあることをご存知ですか？

そこで、今回は大阪モノレールの車両基地内部に潜入。
モノレールの知られざるトリビアを紹介したいと思います。

タイトル「鉄道のまち吹田

潜入！大阪モノレール車両基地」

リポーター 廣川陽子

こんにちは！リポーターの廣川陽子です！

今回、私がやってきているのは大阪モノレールの車両基地。

こちらは車両のメンテナンスや、入れ替えなどが
行われる言わば大阪モノレールの心臓部です。

ナレーション・藤井

そんな車両基地を案内してくれるのは
大阪モノレール総務部の西浦 涼さん。

リポーター 廣川陽子

今日は案内を宜しくお願いします！！

大阪モノレール 西浦涼さん

はい！お願い致します！！

ナレーション・藤井

いざ構内へ！！

リポーター 廣川陽子

かなり広いようですが、どれくらいの広さがあるんですか？

大阪モノレール 西浦涼さん

だいたい5万平方メートルございます。

甲子園球場で言いますとだいたい1.8個分。

リポーター 廣川陽子

1.8?じゃ、かなり大きいですね。
うわ～、これはレールですか？

大阪モノレール 西浦涼さん

はい。我々はケタというふうに呼んでるんですけども、
こちらのケタを抱え込んで走行しております。

リポーター 廣川陽子

抱え込んで!?へ～!
高電圧危険って書いてますね!

大阪モノレール 西浦涼さん

はい。パンタグラフが上にございませんので、モノレールは
こちらから電力を供給されて、それを動力として走っています。

ナレーション・藤井

大阪モノレールといえば、最近 YouTube 動画で話題の
この分岐。世界中で70万回以上の再生回数を記録し
更に、この分岐を一目見ようとたくさんの外国人が、
万博記念公園駅を訪れています。

今回、そんな分岐を、目の前で見せていただきました。

リポーター 廣川陽子

動きました！うわ～、すごい！思ったより速いですね動き方が！

大阪モノレール 上田日出男さん

だいたい一転換15秒程度で動くようになってます。

リポーター 廣川陽子

すごい！これだけ大きいものがこんなに速く！
で、上を私たちが乗ったモノレールが動くということですね。
(そうです！)
また動きました！こんなに間近で分岐が見られるとは思いませんでした。

ナレーション・藤井

興奮冷めやらぬ廣川さん。
続いてやってきたのは列車検査場・・・。

リポーター 廣川陽子

うわすごい！モノレール、こんなに近くで中が見えます。
すごい、こんなに大きいんですね！

大阪モノレール 豊田裕三さん

ここはモノレール車両の安全運転に欠かせない検査を行う
検査場になります。

リポーター 廣川陽子

検査場！？毎日こういうメンテナンスは必要ですか？

大阪モノレール 豊田裕三さん

そうですね。基本8日ごとに列車検査を行っています。

リポーター 廣川陽子

このモノレールはどうやって走っているんですか？

大阪モノレール 豊田裕三さん

大阪モノレールでは1本のレールに、台車が跨って
走行しています。

リポーター 廣川陽子

またがる形なんですね！

大阪モノレール 豊田裕三さん

一般鉄道と異なって、こちらにある水平輪というものなんです
けども、レールの側面に挟むような形で取り付けられて
おりまして、脱線しない構造となっています。

リポーター 廣川陽子

これのおかげで、脱線せず安全に運行できるんですね。

ナレーション・藤井

次にやってきたのは、**細部検査場**。ここはモノレールを
装置ごとに分解し、ブレーキやモーターといった**重要部**を
検査する場所です。

リポーター 廣川陽子

ちょうど今、何かが・・・。

大阪モノレール 大財正和さん

走行装置の台車を検修している所になります。

リポーター 廣川陽子

ここで細かな検査をしたり、作業をしたりするんですね。

大阪モノレール 大財正和さん

モーターだとかブレーキ装置を分解整備している場所となっています。

リポーター 廣川陽子

これはなんですか？

大阪モノレール 大財正和さん

スカートといいまして、車体の下側、駅のホームの下側にある部分になります。

リポーター 廣川陽子

跨いでいる？それがここなんですか？

こんなに大きいものなんですか？

大阪モノレール 大財正和さん

なかなか近くで見ることにはできないので、こうしてみると大きく感じられると思います。

リポーター 廣川陽子

ここで細々したメンテナンスをしたり、調整をしたりということは結構、神経を使われますよね。

大阪モノレール 大財正和さん

そうですね。モノレールは道路の上、人の上を走ってますので、ものが落下したりすると大変な惨事が起きますので、気を使って整備のほうを行なっています。

リポーター 廣川陽子

車両って、どれくらいの重さがあるんですか？

大阪モノレール 大財正和さん

車両は1両あたり28トンで、それが4つ付いてますので、だいたい100トンくらいのものが走っていると・・・。

リポーター 廣川陽子

そんなに重いものが私たちの頭上を走っている・・・。
安全に走行するために、この場所があるということですね。

ナレーション・藤井

現在、大阪モノレールでは大きく分けて3つの車両が
走っています。開業当初から走っている1000系。

そして2代目の2000系。

最新は昨年導入された3000系です。

実はこの3000系、デザインスタッフに初めて女性が
参加しました。

車内の窓は大きくとられ、明るい車内。

シートや吊り革の色は、ピンクを使用。

更に連結器部分にはガラスを採用するなど、革新的なデザインで
グッドデザイン賞も受賞しているんです。

ここでなんと廣川さん、最新車両3000系の運転席へ
案内してもらいました。

リポーター 廣川陽子

これが運転士さんがいつも座ってらっしゃる椅子ですね！

大阪モノレール 大財正和さん

そうです。

リポーター 廣川陽子

すごいなんか、神聖な気持ちになりますね！

これは何て言うんですか？

大阪モノレール 大財正和さん

それは、マスコンハンドルといいまして、電車を動かすための
装置になります。

リポーター 廣川陽子

へ～！これでスピードの調整だったりもするんですね？

この辺のボタンで、何か絶対に触ってはいけないものは？

大阪モノレール 大財正和さん

基本はこちらに書かれている発報信号と非常発報というのが
異常が発生した時に、付いてる装置なんで、ここは
触らないように蓋がついて、押せないようになっています。

リポーター 廣川陽子

押したら？

大阪モノレール 大財正和さん

本線の電車線が全て消えてしまって、電車が動かないと言うような状態になりますので・・・。

リポーター 廣川陽子

全線？

大阪モノレール 大財正和さん

全線が止まってしまいます・・・。

そしたら折角なんで、右の下にあるペダルを踏んで頂くと。

リポーター 廣川陽子

これですか？これ良いんですか？踏んで？

じゃあ行きますよ！せ～の。

(警笛)

すごい！これが警笛！？

もう一回だけいいですか？

大阪モノレール 大財正和さん

はい。どうぞ！

リポーター 廣川陽子

(警笛)

すごい！貴重な体験をありがとうございました。

ナレーション・藤井

さてここからは、大阪モノレール激レア体験3連発をお届けします。

まずは大阪モノレールのドクターイエロー！？

リポーター 廣川陽子

黄色いですね。

大阪モノレール 上田日出男さん

はい。全て安全カラーにしております。

リポーター 廣川陽子

そういう理由があるんですね。大きいですね。

ナレーション・藤井

この車両、工作車と呼ばれ、軌道や電気設備の点検に使われている車両なんです。

リポーター 廣川陽子

モノレールに普段乗れても、こういう工作車って本当に乗れないですからね！
うわ～！中は広いんですね！

大阪モノレール 上田日出男さん

軌道と電気設備がそのまわりに付いているんですけども、それを点検するためには・・・。

リポーター 廣川陽子

こういうふうになっているんですね。
これ開けた状態で走ることもあるんですか？

大阪モノレール 上田日出男さん

あります！軌道の走行面を見たりする時は開けて走ります。

リポーター 廣川陽子

この工作車が走るのってどのくらいの時間帯なんですか？

大阪モノレール 上田日出男さん

モノレールの運行が終了してから、だいたい0時半以降ですね、から朝の4時半までです。

リポーター 廣川陽子

普段はじゃあ、私たちは中々見る事が出来ないというレアなものですよね？

ナレーション・藤井

めったに出会えない工作車。近年は電車好きの間で話題となりスマホの待ち受けにする人もいます！続いては？

リポーター 廣川陽子

こちらはなんですか？

大阪モノレール 大財正和さん

こちらは洗車機と言いまして、今モノレールは8日に1度洗車を

行っています。今日は折角なので廣川さんに、車内に乗ってもらって洗車のほうの体験をしていただきたいです。

リポーター 廣川陽子

洗車体験？

ナレーション・藤井

モノレールを洗う洗車装置は長さ13.5メートル、幅5.5メートルの巨大な箱状のマシーンです。

大阪モノレール 大財正和さん

これ前も自動的に洗うようになってますんで、こちらで体験して頂くか、中に乗って体験して頂くか・・・。

リポーター 廣川陽子

どうしよう？どっちがいいかな？

大阪モノレール 大財正和さん

多分、中々ないのでこちらで！

ナレーション・藤井

それでは洗車スタート！！

行程はおよそ10分間、すべて自動で行われます。

リポーター 廣川陽子

すごい水が出てきました！うわ～！

洗われてます！すごい！

すごい！水圧がすごい！

車の洗車の体験はありますが、電車の洗車って・・・、こんなことないですよ。一生に一回かもしれないですね。

ナレーション・藤井

そして、最後の激レア体験は・・・！

リポーター 廣川陽子

西浦さん、これはなんですか？

大阪モノレール 西浦涼さん

はい。これは脱出シューターでございます。

リポーター 廣川陽子

脱出シューター！？ってなんですか？

大阪モノレール 西浦涼さん

こちら緊急時等に、お客様に車両から安全に脱出して頂くための器具でございます。

ナレーション・藤井

モノレールはほとんどが高架。よって万が一の際、お客様をスムーズに誘導できるよう、職員の避難訓練を年数回、本社ビルの屋上から行なっているんだそうです！ちなみに高さは15メートル。

リポーター 廣川陽子

屋上に来てしまいました！こちらが脱出シューターですね？

大阪モノレール 吉廣聡明さん

モノレールが駅間で止まってしまった場合のお客様の救出方法の一つとして、脱出シューターというのを車両に備えています。

ナレーション・藤井

それでは激レア、高架からの脱出体験スタート！

リポーター 廣川陽子

怖いよ～！行きますよ！怖い怖い！

ナレーション・藤井

ちなみに、今まで大阪モノレールでは脱出シューターを使うような緊急時は一度も発生したことはないそうです！

廣川さん、レア体験はいかがでしたか？

リポーター 廣川陽子

怖かった！！でも大丈夫！

ナレーション・藤井

今回の鉄道の街吹田、大阪モノレール篇はいかがでしたでしょうか？吹田市には様々な鉄道が走っています。今後ご紹介していきますので乞うご期待！！

スタジオ

藤井：

なかなか見られないものを見せていただきましたね。

田村：

面白い情報ばかりでしたけど、最後の脱出シューターの中がどうなってるのか分からんまま。

藤井：

あれは、螺旋状になってるみたいで、真っ逆さまに落ちるわけではないみたいなんですよ。

田村：

ズドンじゃないの？

藤井：

ないですね。

ちゃんと安全に下に降りられるようになってるそうなんですけど、実際にあれを使うという機会はまだ起こってないので、安全をみなさんがちゃんと点検してくださってるからですよ。

田村：

8日に1回やってるんですね。

藤井：

ここでもう一つ、大阪モノレールのトリビアがあるんですが、今、SNSで話題になっているものがあるんです。何だと思いませんか？

田村：

夜中に変形してロボットになる。

藤井：

それもすごく見たいんですけど、実はこちらです。

田村：

あれ！？ 何、これ！？

藤井：

「ハートのつり革」なんですよ。

「幸せを掴む」ということで話題になっているんですが。

田村：

すごい！めっちゃ可愛いやん、これ！

藤井：

これ、とってもレアで、全車両のうち、たった1つしかないそうなんです。

田村：

え？

藤井：

全車両についてるつり革の数を計算すると7000個のつり革があるそうなので、7000分の1の確率で、このハートのつり革が。

田村：

各車両にどれか1個ついてるわけじゃなくて？
この世にこれ1個しかないの？

藤井：

大阪モノレールの車両の中で1つしかない。

田村：

じゃあ、どのタイミングでこれが走ってるか分からへんねや。
たまたま当たったら、めっちゃ嬉しいやん。

藤井：

そうなんです。
当たった女子高生とかがSNSにアップしたりして話題になってる。

田村：

乗ってみたい、これに。

藤井：

皆さんもぜひ探してみてSNSにアップしていただければと思います。
ここで、大阪モノレールから番組をご覧の皆様にごプレゼントを頂きました！
こちらです。
大阪モノレールのキーホルダーとペン立てのセット。

田村：

かなりレアな物らしいですよ。

藤井：

非売品だそうです。

田村：

大きめのしっかりしたキーホルダー。

藤井：

しかも、カッコいいですね。

田村：

箱もカッコいいですからね。

このペン立て、ここにスマホが刺さるという。いかがでしょうか？

藤井：

これで、YouTubeを見ながら。すごく楽しめますよね。

こちら2つを4名の方にプレゼントします。

はがきかインターネットで受け付けていますので、

必要事項、そして番組の感想を一緒に書いてお申し込みください。

詳しくは広報番組のホームページかツイッターをご確認ください。

以上「大阪モノレール見学記」をお届けしました。

VTR_ワンポイント手話（1分）

田村裕のすい散歩

田村：

どうも。「すい散歩」の時間でございます。
今回は吹田の駅前から始めていくんですが……。

スタッフ：

今回は特別企画ということで「わらしべ長者」に挑戦していただきたいなと。

田村：

わらしべ長者！？

スタッフ：

JR吹田駅前からスタートということで。

田村：

なるほど！何から始めるんですか？物は？

スタッフ：

物は、こちらです。

田村：

え？何？いつもの名刺？

スタッフ：

Twitterに上げていただいた田村さんの直筆サイン入り名刺からスタート。

田村：

なるほど。これは僕の吹田での人気もうかがえますよね。
「吹田が生んだスター」が「わらしべ長者」するんですから……。
僕、物欲ないんですけど唯一、欲しいものがあって、それが車なんですよ。

スタッフ：

車いきますか？

田村：

最終的にベンツ。ベンツまでいこうかな。
2時間あるんでしょ？2時間って長いですよ。
2時間喋れっていうのは、大したもんですよ。
2時間で車！これ（名刺）が車に変わります！乞うご期待ください！

田村：
こんにちはー。どうもー。お名前は？

女性1：
トキです。

田村：
トキくん？こんにちは。
実は今、わらしべ長者をしてるんですよ。
僕が今からこれにサインを入れて、お名前かメッセージを入れるので
これと何かと交換してもらうことができますか？

女性1：
え！？

田村：
何でもいいんで。

女性1：
ほんまに何でもいい？

田村：
何でもいい。

女性1：
あげるの？

男の子：
あげる。

田村：
え！いいの？ありがとう！めっちゃ良いじゃないですか。

女性1：
嬉しい！

田村：
「この子育てが日本を作る！頑張ろう！！」
トキくん、ありがとう。

女性1：

「いいえ」って。

田村：

さっそく「歯ブラシ」に変わりました。これは確実にランクアップです。

田村：

こんにちは。

以前、お邪魔させていただきまして半年ぶりに来ましたが、この半年間、見てますよね？

女性2：

見てますよね。

田村：

一番好きな回は、どの回？

女性2：

え？

田村：

約束しましたもんね、あの時に。

「見てくださいね！」って言ったら「分かりました！」って言うて、僕、帰っていききましたもんね。

女性2：

年末のクリスマスの回が良かったです。

田村：

無いことはない！できる子や！

…見てないじゃないですか！これは謝るだけじゃ許しません！

今、わらしべ長者をしてまして。

女性2：

これ、すごくお客さんが喜んでくださるんです。紙すきで作ってるお面。

田村：

いいですか？

女性2：

そうですね。可愛いので。

田村：

いいですか、これ？

女性2：

はい！

田村：

やったー！ と、いうわけで、お面ゲット！

田村：

よし！ 順調としか言いようがない！ 車への道が見えてきましたね。

スタッフ：

順調ですね。

田村：

かなり順調ですよ、これは。

田村：

これ、めっちゃおもしろいわ！

男性1：

こんなん面白いですか？

田村：

これ持ち歩いてたら面白いでしょ！ サドルだけ持ってる人、なかなか居ないですよ。

男性1：

それと換えましょか？

田村：

マジっすか！ いいの？

男性1：

はい。全然。

田村：

すいません。じゃあ、お言葉に甘えて。なんと！ 「やわらかサドル」ゲット！

田村：

サドルだけゲット！「やわらかサドル」。
やっぱり吉田屋さんでしょ、困った時は。
お久しぶりです。その節はありがとうございました。

男性2：

ご無沙汰してます。師匠来た数日後には、ブルーシートの家になりました。

田村：

え？

男性2：

4日か、5日後ちゃうかな？

田村：

台風で？ここですか？

男性2：

全部ブルーシート。さすがやな～って。

田村：

僕のホームレスパワーで？

男性2：

パワーが。ありがとうございました。

田村：

今日もパワーを持ってきたんですけど、今、わらしべ長者をしてみして。

男性2：

何がええ？

田村：

え！いいですか？

男性2：

アホなこと言うたらアカンで。

田村：

じゃあ、西川の羽毛布団。

男性2：

むちゃくちゃ言うな。さすが吉本やな。

田村：

シャッター換えたばかりやのに？

男性2：

借金どんだけしたか。握手しただけで。

田村：

台風、俺のせいちゃうから！どうします？今日も握手。

男性2：

またや、もお～。嫌やで、今から閉めるの。

交換しやすい物にしとかなあかんやろ。

田村：

優しいな～。

これ可愛いじゃないですか。マジですか？優しい！

男性2：

誰がヤラシイねん！

田村：

言うてないわ！

5400円の品物に換わりました！ありがとうございます！

田村：

何かないですか？玄関の前で待ってるんで。

男性3：

いやいや、何もありません。

男性4：

毛布はあんまりいらんわ。

田村：

毛布いらんかい？

男性5

布団持って、何処で寝るの？

田村：

さすが大阪の人やな～。

田村：

手ぶらでは帰られへんねっていうのがあるんですよね、僕も。
渡した以上は何かちょっと・・・。

男性6：

あ、あれやね。物々交換。

田村：

物分かりが良い！大阪はロケしやすい。特に吹田は良い。

男性6：

絵画やったら・・・。

田村：

マジですか！

男性6：

これがいいかな。環境問題で土地がどんどん水に浸かってしまって
土地がなくなってしまうイメージの絵。

田村：

ちなみに、金額をつけると？

男性6：

これ？これは、3万円くらいですかね。

田村：

マジですか！？いいですか？

男性6：

ポストカードにしたんですけど、まあ、田村さん来たし。

田村：

うわ！やっぱりスーパースターですよ、吹田の！
なんと、3万円の絵画に換わりました。

スタッフ：
あと1分です！

田村：
すいません！車と交換してください！
「何や？」ってなってる。ヤバイ！どうしよ！あと1分？マジ？ヤバイ！
その自転車と交換してください。

女性3：
無理です。すいません。

田村：
ダメ？コマ1個で良いからください。

スタッフ：
はい！そこまで！

田村：
あ～、終わっちゃった。
これ充分すくなくないですか？たった1枚の名刺が3万円の絵画ですよ。
しかも、地球の自然を大事にしようっていう立派なメッセージ。
吹田の街にピッタリのメッセージですよ。
今日で終わりじゃないんですよね？

スタッフ：
終わりじゃないです。

田村：
良かった。車への可能性がまだ。最終目標「車」まで到達するのか。
更なる挑戦を続けます！

スタジオ

田村：

続いては、吹田の街で行われた出来事などをご紹介します
「吹田のトピックス」です。

藤井：

今回は2月に行われた催しをご紹介します。

ナレーション・(藤井)

2月11日、自然体験交流センターわくわくの郷で「ふれあい交流広場」が開催されました。

わくわくの郷は、北千里駅徒歩10分というアクセス抜群の立地で、バーベキューやキャンプなどの自然体験が楽しめる人気の施設なんです。この日は、日頃の利用への感謝を込めた年に一度の施設開放デーとして、様々なイベントがおこなわれました。

例えば、クラフトづくりでは、敷地内で拾ったどんぐりや葉っぱなどを利用したペンダントづくりがおこなわれたり、野外食堂ではかまどの火で蒸した餅米でお餅つき体験がおこなわれました。

またキャンプサイトでは、たき火を利用してマシュマロを焼いて食べたり、いろいろな太さの丸太をのこぎりで切る体験などがおこなわれていました。

そして、森を利用したミニアスレチックも作られ、沢山の子どもたちが元気に遊んでいました。

参加した人たちは自然に親しみながら、1日わくわくの郷の魅力を体験していました。

田村：

良い施設ですね。しかも、ああやって開放してくれると、親しみが出てまた別の機会でも行ってみようかなってなるといいですね。

藤井：

以上、吹田のトピックスでした。
さて、今日もエンディングのお時間です。

田村：

あら！今日もエンディング？ ああ～、今日もや。
あつという間ですわ。

藤井：

今回はスタジオを飛び出して、新しくできたカフェからお送りしたいと思っています。

田村：

何やった？パークインカフェ？

藤井：

はい。

田村：

カフェに公園が入っちゃってるやつね。

藤井：

千里南公園からお届けしようと思うので、お時間が合う方は3月7日、ぜひ遊びに来てください。

田村：

「こんな感じでやってますよ」というのが見れますから、ぜひ見に来てください。
せっかくですから、記念撮影をしましょうよ。時間と場所と決めて。

藤井：

12時頃にカフェの前に集まっていたらいい。

田村：

12時？そうしよう！

藤井：

みんなで一緒に写真を記念に撮りたいと思いますので。

田村：

普段「すい散歩」で配ってる名刺もこの時に配りますから
ぜひとも12時に公園で全員で記念撮影！

藤井：

一緒に楽しんでください。

田村：

それでは、また次回お会いしましょう。さようなら～